

『どう考えているのかな？(獅子舞)』

○活動のねらい

いろいろな考え方があり、それぞれを受容的・共感的に受け止めることの大切さに気付く

○所要時間 45分

○トレーニングを受ける人数 3名

活動内容 《 》は領域、【 】はスキル、『 』は活動名	時間 (分)	トレーニング上の留意点 フィードバックの視点
1 アイスブレイキング ※視点:傾聴・受容・共感 例 ・1分間スピーチで話したり聴いたりする (題:学年の雰囲気、前回の職員会議で感じたこと)	5	・傾聴し、受容的・共感的に聴くように努める
2 《受容・共感》 【教師へのかかわり 事例演習】 『どう考えているのかな？(獅子舞)』 ①ケース資料を読む ②各自読んで感じたことをワークシートに記入 ③②をもとに話し合い ④③を経ての考えを記入 ⑤エクササイズでのシェアリング	20	①個々の場面想起を重視したいので、極力コメントは避ける ②感じたままに書くことを伝える ③あらゆる場面をフィードバック時に賞賛するために行動を共感的に観察する ④考えの変化の有無は問わない
【補助発問】 ・あなたの考えを伝えている時、あなたは？ ・あなたが話している人の話と同調しているとき、その人は？ ・話と同調されない人がいたとき、あなたや他の人は？	5	①伝えたことと考えを受け入れたことのバランス ②話し合いで感じたこと ③同調と同調されない発言への対応
3 本プログラムを振り返って	5	フィードバックの視点 ・いろいろな考え方があり、それぞれを受容的・共感的に受け止めることの大切さに気付く
パーソナルプランニング	5	※パーソナルプランニング例 ・学年職員の長所を生かせるアドバイスを 行っていく ・取り組んでいることをまずは認め、励ましていく

パーソナルプランニング後の職員へのかかわりの具体例

サポーターが行ったこと	サポーターが感じたことやサポートを受けた職員の様子
担任と音楽主任との合唱づくりへの考えの相違で悩んでいる担任へ「先生のお考えをお聞かせください」と担任の思いを聞いた	「先生の思いは音楽主任へ伝えます それぞれやり方は違っていても、子どもへの思いは熱いんですね」とコメントすると落ち着いたトーンでの会話になった